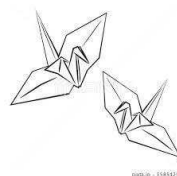


2019 富岡西高等学校 2年次通信④

令和元年 10月10日
2年次主任



中秋の候、すっかり秋らしくなってきましたが、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。お子様は富西祭や体育祭の行事を終え、これまで以上に学習に集中しやすい時期を迎えようとしています。

保護者の皆様には、PTA 2年次部会にご多忙の中をご来校いただき有難うございました。

これから始まる中間試験から2学期後半にかけて、お子様が自らの力を自発的に伸ばしていくことができるように、なおいっそうの御協力をお願い致します。

1. 学校の重点項目

本年度の学校の重点項目は、**あいさつ、清掃、時間厳守**です。

年間を通じて、これらの事柄を徹底することで、自らの将来を成功に導く態度や行動力を身につけさせます。

2. 2年次教育方針

自立貢献

入学からこれまで、「自立貢献」を柱とし運営しています。ご家庭での保護者の関わりがお子様の成長に大きな影響を与えます。引き続き、お子様へのお声かけをお願いします。

3. 9月27日(金) PTA2年次部会について

当日は本校研修会館において部会を開催いたしました。近畿大学入試センターから屋木清孝氏をお招きし、「大学入試の現状と受験生をもつ保護者の心構え」という題目で講演をしていただきました。主な内容は、(1)強い(伸びる)生徒の共通点 (2)受験生を持つ保護者の心構え (3)大学入試の現状 (4)大学入試の基礎知識 (5)大学合格に向けて 今からできる保護者の取り組み などについて、ご説明して下さいました。(5)では、子供に言ってはいけない言葉(キーワード)や理想的な声かけなどもご紹介頂きました。多くの方々にご出席いただき、お子様の進路への関心の高さをひしひしと感じました。以下に、保護者の方々の御感想を抜粋させていただきました。

保護者の皆様の御感想(よく似た内容はまとめさせていただきました)

- ・スピーディな話で面白く、そしてポイントをおさえてすごく聞けて良かったと思います。子供との会話に役立てたいと思います。

- ・子供が帰宅したときに、大変役にたった話だったと聞き、楽しみにしていました。モチベーションが上がりました。
- ・子供にやる気を持たせるコツを聞かせてもらえて、良い会だったと思います。
- ・屋木先生の話聞くのは、上の子の時を含めて2回目です。いろいろ再確認することができて良かったです。
- ・とてもわかりやすく面白かったです。と、同時に心が痛かったです。NGワードや子供との会話を考え直さないといけないと思いました。親子で進路に向けて、話ができたらと思います。
- ・とてもいいお話が聞けて良かったです。褒めて伸ばす。上から考える!!将来の目標をしっかりと子供と話したいです。
- ・非常に面白かったです。自分の頃とは大学受験を取り巻く環境が全く違ってかなり焦りました。自分のわかる範囲内だけで偉そうにアドバイスしていたのが恥ずかしいです。本人の希望をもっと聞いて、一緒に調べたりしてみようと思います。
- ・気がつかなかったことに気づかされました。親の入試に向けての心構えの必要性を痛感しました。
- ・親として受験に対して不安な面が多かったので話を聞いていろいろ参考になりました。受験生の親としての自覚を持つことの大切さが分かりました。勉強します。
- ・子供に対してのコミュニケーションは今まで本当にだめだったと考えさせられました。親からの押しつけで大学も選ぼうとしてしまっていたことを反省しました。帰ったら子供といろいろ考えてみたいと思いました。ありがとうございました。
- ・話に引き込まれてあつと言うまででした。日頃はつい「言ってはいけない」方の言葉を言っているもので、反省しました。
- ・子供への声かけを具体的に良い例、悪い例と教えていただいて良かったです。早速帰ったら実践します。
- ・昔の大学入試とはかなり変わっており、勉強になった。「上から考える」と言うことが一番心に残った。
- ・大学入試についての質問殆ど不正解でした。自分の知識不足を実感しました。こどもの夢、目標を聞いて対策に向け、しっかりと対応していきたいです。
- ・昔と今の大学入試のあり方の違いに驚きました。子供にかける言葉でこれからの夢の実現に大きく差が出るので言葉使いには気をつけようと思いました。
- ・知らないが故の不安がなくなったように思います。毎日の努力を積み重ねて生きたいです。
- ・とてもわかりやすく全ての屋木先生の言葉が胸に響きました。親もやる気を持って子供が頑張れるようにサポートしていきたいと思います。
- ・英検についてはまだ良く分かりません。また情報をお願いします。

4. 受験校最終決定!併願校の選び方! <入試科目&スケジュール編>

お子様と来年への話し合いは進んでいるでしょうか。3年生では試験本番が近づく今、志望校の対策だけではなく、そろそろ併願校の受験戦略も考えておきたいところです。今回は、併願校の決定にあたって重要な「難易度」「入試科目」「入試日程」のうち、「入試科目」と「入試日程」の2つに焦点を当てて、ベストな決め方を紹介します。

併願校決定は「難易度」「入試科目」「入試日程」から決めよう!

併願校を決めるときに考慮したいのが、「難易度」「入試科目」「入試日程」の3つです。どれか1つの観点に偏ることなく、すべてのポイントをしっかり押さえておきましょう。「難易度」については、「各種大学ランキング等」をチェックしてください。

ただし、何よりも優先したいのは、「進学することになったときに、納得できるかどうか」です。学ぶ内容はカリキュラムに興味を持ってそうか、必ず調べてください。

併願校決定3つのポイント！ 難易度 入試科目 入試日程

①第一志望校と入試科目が同じ大学を選ぼう！

第一志望校の対策に集中するには、「併願校でしか使わない科目」はなるべく少ない方がいいです。国公立大と私立大を併願している場合は、「2次試験の入試科目」と「私立大の入試科目」が重なるようにしましょう。大学によっては国公立大の志望者向けに、5～7科目で受験できるセンター利用入試もあるので、有効に活用しましょう。

また、私立大の場合、同じ名前の学部でも大学によって入試科目が異なることがあります。2科目のみで受験できる入試があれば、対策の負担は減ります。大学によって入試制度のバリエーションはバラバラなので、何か有利に受験できる制度がないか、探してみてください。

②科目ごとの配点も要チェックです！

入試科目を調べるとき、配点にも目を向けてください。得意科目の配点が高い方が当然有利です。例えばお子さんが理系で、私立の併願校を探していたとして

A 大学：英語 100 点、数学 200 点、物理 100 点

B 大学：英語 200 点、数学 200 点、物理 200 点

C 大学：英語 100 点、数学 200 点、物理 200 点

の3校をピックアップしたとします。英語が得意なら B 大学を、理系科目が得意なら C 大学を選んだ方が、合格の可能性は高まるでしょう。

③入試日程は必ずチェックしましょう！

入試日程が重なっていないか、3日以上連続で受験日が続いているか確認しましょう。連日の受験は体力面・精神面ともにキツイです。疲労がたまって実力を発揮できないと元も子もないので、なるべく受験日が連続しないようにしておくのが良いです。

可能なら、いきなり志望校を受験するスケジュールではなく、併願校、特に安全校から受験できるようなスケジュールを組みましょう。進学先が確保できていれば、心理的な負担のない状態で志望校を受験できます。スケジュールの調整が必要な場合、入試日を自由に選べる制度や、地方の受験会場を利用できないか、調べてみてください。多少難度は高くなりますが、全学部入試なら同じ大学の複数学科をまとめて受験できるのでお得です。安全校なら、センター利用入試を活用すると、対策にも受験にも時間を割かれずに済みます。

④入学手続きの締め切り日も忘れずにチェックしましょう！

締め切り日が他大学の合否発表の前に設定されていると、進学するかどうかわからないまま、入学金を支払わなければいけなくなることもあります。受験がどう進んで、どの大学に合格した場合に入学金を支払うのか、お子様と保護者と一緒にシミュレーションしてください。

入試日程の押さえておきたいチェックポイント

- ・受験日が重なっていないか、3日以上連続していないか
- ・合格の可能性が高い併願校から受験が始まっているか
- ・地方受験会場、センター利用入試、全学部入試、受験日自由選択制の有無
- ・入学手続きの締め切り日はいつか

上記のチェックポイントを確認して、併願校の受験もスムーズにこなせるよう、今から計画を立てておいてください。次回は難易度による最終受験併願校の考え方決め方を説明させていただきます。予定です。

5. 保護者の皆様へお願い

毎回のお願いになりますが、学校やご家庭での教育効果を更に上げるために、保護者の方の御協力が必要です。お子様とコミュニケーションをとっていただき、今のうちから進路選択についての意思疎通をお願い致します。そして、これから入試対策が本格的になり、生徒の緊張感が高まってくる時期になると、保護者の精神的なサポートが必要になります。保護者のできる一番のサポートは環境づくりであり、お子さんが勉強に集中できる環境を整えてください。

これからも引き続き体調管理にご留意いただき、交通事故等に遭わないように充分気をつけてください。その他、気になることがあれば、学校または担任への連絡をお願いいたします。

富岡西高等学校 TEL 0884-22-0041